

たばた 教 田畑たけし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

12月県議会一般質問

県立長生の森公園の整備を

誰もが住みやすい街づくりを目指している田畑毅議員（茂原市・1期）は、12月の定例県議会に登壇し、県立長生の森公園や県立高校のトイレの整備、長生グリーンラインについてなど、多項目にわたって県民・市民の立場から県執行部の考え方をたずねました。その概要をお伝えします。



12月定例県議会に登壇した田畑議員

田畑議員 県立長生の森公園は、長生・夷隅地域の広域的なスポーツやレクリエーション、防災機能を充

特に高校野球に利用されている野球場については、近年の熱中症対策として、日中を避けて、朝夕に試合を行う2部制が昨年度より夏の甲子園で実施されており、今後、千葉県予選においても採用が想定される。

原長柄スマートインターチェンジが開通し、公園へのアクセスも格段に良くなったので、公園の更なる利用促進に向けた整備状況について関心があるところである。

その対応として必要不可欠なナイト照明の設置を、現在長生の森公園の野球場においても進めてもらっているかと聞いています。

そこで伺う。県立長生の森公園の整備の進捗状況と今後の取組はどうか。

都市整備局長 長生の森公園は「人間・スポーツ・環境」を公園のテーマとして自然の地形や豊かな緑を保全しながら、野球場やテニスコート、多目的広場等の整備を進めてまいりました。

棟のトイレの1系統を、便器の洋式化のほか、床のドライ化や、配管の更新など、全面的に改修しています。

学校は、生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であり、快適な環境であることが求められることから、引き続き、トイレを含めた施設整備を着実に進めてまいります。

田畑議員 長生地域における高校のトイレ先行改修はどのように進めていくのか。

教育長 長生地域にある、長生高校、茂原高校、茂原樟陽高校、及び一宮商業高校については、いずれも、今年度設計を行い、来年度に改修工事を行う予定です。

県立高校の環境改善を図れ

田畑議員 県教育委員会では、令和11年度までに、全ての県立高校のトイレを洋式化すると、現在、順次整備を進めていただいているところであるが、県立

高校のトイレは古くて汚いという声をよく聞く。老朽化した配管は、お

学校のトイレが「汚い」という理由で、使用を我慢し、体調や学習に支障が出るような生徒もいるのではないかと心配する。

来年度から、私立高校

また、当面、大規模改修が予定されていない学校については、大規模改修に先行して、普通教室

田畑たけし・PROFILE

- ◆昭和43年10月18日生まれ
- ◆茂原南中、帝京高校（サッカー部）、帝京大学、米・カリフォルニア クレアモント・ピッツァ・カレッジ卒
- ◆製造業
- ◆千葉県商工会議所 青年部連合会 会長 (H23)
- ◆茂原商工会議所 理事
- ◆茂原市議会議員 3期
- ◆茂原市議会 議会運営委員会 委員長
- ◆茂原市議会 副議長

要望 トイレを含めた施設整備の充実が重要であることから、選ばれる県立高校とするためにも、引き続きトイレの環境改善に取り組むよう要望する。

要望 多目的広場において、サッカーの試合や練習ができるよう、芝の管理や施設の充実について要望する。

●茂原の声を県政へ届け実現させます

田畑たけし 県事務所

〒297-0032 千葉県茂原市東茂原10 TEL.0475-25-7123

長生グリーンラインの進捗状況

田畑議員 長生グリーンラインは、外房地域の道路ネットワークの骨格となる道路であり、現在、令和8年度中の全線開通に向けて整備が進められている圏央道の整備効果を外房地域に広く波及させる大変重要な道路である。

茂原市にとっても、交通が転換することにより、渋滞の緩和や安全性の向上に寄与するとともに、潜在している地域の優位性を引き出し、地域の活性化につながる道路として、大変期待しているところである。

令和6年3月に長南町道から県道茂原大多喜線までの2・5キロメートルが開通し、圏央道から4キロメートルが併用された。

続く区間の早期開通に対する地元期待も高まっていることから、茂原市三ヶ谷地先の広域農道までの進捗状況が大変気になるところである。



田畑議員が要望する

少子化対策に医療体制の充実を

田畑議員 少子化が進む中で、子供を安心して生むことができる環境を作ることは、真剣に取り組んでいかなければならない問題だと思ふ。

公立長生病院では出産ができる施設が少ない状況であり、市民からも、産科を増やしてほしい、という声があがっている。

近年、全国でも、本県でも、出産年齢は上昇傾向にあり、

今後、リスクを伴う出産が増加していくことが予想される。出産リスクの高い妊婦のケアや、早産で小さく生まれた赤ちゃんや、先天的な疾患を持つ赤ちゃんの命を救うためには、周産期母子医療センターが重要になってくる。

そこで何う。県内の産科医を増やすために、どのような取組をしているのか。

保健医療担当部長 国が令和2年の医師数をもとに算定した偏在指標によれば、

本県は都道府県別で第34位と、分娩取扱医師の医師少数県となっております。産科医の確保は重要な課題です。

このため県では、県内での就業を条件に、月15万円又は20万円の貸付金の返還を免除する医師修学資金貸付制度の中に、将来産科医を目指す学生を対象に、月5万円を加算するコースを設け、産科医の養成及び確保を図っています。

また、産婦人科の研修医や

県道茂原大多喜線から広域農道までの2・5キロメートル区間について、用地取得率は約8割となっております。残り、残る用地の取得を進めるとともに、県道を跨ぐ橋梁の下部工事などを実施しているところでは、

引き続き、地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら、早期に開通できるように事業を推進してまいります。

田畑議員 長生グリーンラインの広域農道から一宮町までの区間の進捗状況はどうか。

県土整備部長 広域農道から一宮町までの区間については、現在、道路や橋梁の設計を進めるとともに、道路計画の説明と境界立会を実施するため、地元説明会を開催したところであり、今月から順次、全区間を対象に境界立会に着手する予定です。引き続き、地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら、事業を推進してまいります。

田畑議員 広域農道までの区間を進めていくにあたり、用地測量を進めています。

鶴枝川については、本川合流点から一本橋までの約1.4キロメートル区間において、堤防高上げの設計を進めており、今後は、地元調整を行い、速やかに工事着手できるように取り組んでまいります。

田畑議員 赤目川は、茂原市本納地区を東西に流れ、南白亀川の支川になる。赤目川の上流に位置するJR本納駅周辺では、これまでに度々浸水被害が発生しており、茂原市の内水対策と併せて浸水被害の軽減を図ることが重要と考えます。

そこで何う。赤目川における河川整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県では、南白亀川との合流点から上総橋までの7.7キロメートル区間において、河川整備を行うこととしており、これまでに南白亀川合流点から新手機橋上流までの約4.9キロメートル区間の河道拡幅と、その上流側右岸にあるB調節池が完成しています。

現在、B調節池の対岸に位置するA調節池において、貯留した水を池から排水する設備の工事を行っているところでは、

河川整備で浸水被害を防げ

生児集中治療室の整備への財政支援を行っています。

また、地域における産科機能維持のため、分娩数が減少した施設や、産科施設が少ない地域に所在する施設に対して国の補助事業を活用した財政支援を行っているところであり、今後とも、全県的な周産期医療体制の充実を努めてまいります。

保健医療担当部長 周産期医療については、出産を希望するすべての方が安心して出産できる環境を確保するため、分娩リスクに応じた、病院、診療所及び助産所がそれぞれの役割を果たしていくことが重要です。

そこで県では、必要に応じて、ハイリスク分娩に対応できる医療機関へ速やかに搬送できるように、総合周産期母子医療センターである千葉大学医学部附属病院に24時間365日対応の母体搬送コーディネーターを配置するとともに、県内12か所の周産期母子医療センターの運営費や新

要望 県が、周産期における医療提供体制を充実させるために、様々な取組を行っていることには分かった。安心して出産や子育てができる環境を整えることは、本県での出産を考えている方への後押しになると考えている。出産は何が起るかわからない。どこで何があっても、適切な病院に運ばれるよう、全県的な連携調整を行うネットワークが構築されていることが、大変重要と考える。この体制が継続して維持できるように、しっかりと支援をいだけよう要望する。

この大雨を教訓として、県では、この豪雨と同規模の降雨に対し、令和11年度末までに家屋や主要施設の浸水被害ゼロを目標とする「宮川流域浸水対策特別緊急事業」を立上げ、特設事務所を設置して集中して予算を投入し事業を推進していただいた。

そこで何う。一宮川における河川整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 一宮川中流域においては、一宮川第二調節池の増設工事が令和5年度末に完了し、瑞沢川合流点から豊田川合流点までの約7.1キロメートル区間における河道の拡大工事は、令和6年度末に概ね完成したところです。

現在は、上流域において河川整備を進めており、一宮川第三調節池の遮水工事や一宮川上流及び支川である三途川の護岸設計等を行っています。

田畑議員 茂原市内には、他にも茂原市役所前を流れる豊田川と、環境衛生センター前で本川に合流する鶴枝川でも河川整備を行っており、その状況が気になる。

そこで何う。豊田川及び鶴枝川における河川整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 豊田川については、本川合流点から茂原市役所前までの約0.5キロメートル区間において、本川の水位の影響を受けるため、堤防を本川堤防と同じ高さにする対策を行っており、現在、右岸約0.1キロメートル及び左岸約0.4キロメートルで堤防高を確保したところです。

さらに、合流点から約5.5キロメートル上流に位置する関戸堰から上流側0.6キロメートル区間においても河川改修を行うことと